



1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム ラスール苗穂ウエストサイド	階数	4		
建設地	札幌市中央区北1条東19丁目6-3の内	構造	RC造		
建物用途	病院	平均居住人員	100人		
竣工年	2023年9月 予定	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
敷地面積	3,744 m ²	評価の段階	実施設計段階評価		
建築面積	1,976 m ²	評価の実施日	2022年11月22日		
延床面積	5,864 m ²	作成者	國澤 全克		
		確認日	2022年11月22日		
		確認者	國澤 全克		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆ A</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質			Qのスコア = 3.1		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.4</p>			
LR 環境負荷低減性			LRのスコア = 3.5		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>			

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>既存特養と2階部分で行き来できるようにし、相互対応を可能にした。またスタッフ室内に階段を設けることにより、それぞれのスタッフが行き来でき、救助依頼に迅速に対応できるようにした。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>建物の高断熱化、サッシの二重化、ロスナイ換気扇の採用などにより冷暖房に係る省エネルギー化を図り、照明器具のLED化により、消費電力の低減を行いました。また井戸水の利用により水道水の低減を図りました。</p>	
<p>B 省資源等</p> <p>外部にゴミ庫を設置し、「廃棄物保管庫」「再利用物保管庫」として利用し資源の再利用を心がけます。</p>	<p>C 緑化</p> <p>札幌市の緑化条例に沿った設計としています。</p>	
	<p>D 蓄処理</p> <p>敷地内及び既存施設敷地に堆雪場を設けています。</p>	

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	建築物のエネルギー消費性能向上に関する適合通知		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質							3.1	
Q1 室内環境				0.40	-	-	3.0	
1 音環境			3.0	0.15	2.6	1.00	2.9	
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	0.20		
1.3 吸音			3.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境			3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温			3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能			3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境			3.0	0.25	3.0	1.00	3.0	
3.1 昼光利用			3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光率			3.0	1.00	3.0	1.00		
2 方位別開口				-		-		
3 昼光利用設備				-		-		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御			3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境			3.4	0.25	3.0	1.00	3.3	
4.1 発生源対策			3.0	0.50	3.0	0.63		
1 化学汚染物質			3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気			3.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		

4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1	CO ₂ の監視	-			-		-	
2	喫煙の制御	敷地内全面禁煙を実施		5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.1	0.40	4.4	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性	個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上。			-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応	-			-		-	
3	バリアフリー計画	-		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.5	0.40	
1	広さ感・景観	住居・宿泊部の天井高2.5m以上。			-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース	-			-		-	
3	内装計画	-		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計	内装材は汚れにくい材質を選び、外部金物はアルミ材使用		4.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保	-		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)	-		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能	-		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数	-		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源		3.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源		3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源		3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.0	0.20		-	
1	空調・換気設備	-		3.0	0.25		-	
2	給排水・衛生設備	-		3.0	0.25		-	
3	電気設備	-		3.0	0.25		-	
4	機械・配管支持方法	-		-	-		-	
5	通信・情報設備	-		3.0	0.25		-	
3 対応性・更新性				2.9	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり				2.8	0.30	2.8	0.50	
1	階高のゆとり	-		2.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3		4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2900N/㎡以上～3500N/㎡未満	3.0	0.30	3.0	0.50	

3.3 設備の更新性				3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	3.4
1	生物環境の保全と創出	緑化	-	3.0	0.30		-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	構棟と色彩を揃え、景観に合う色彩を採用する	4.0	0.40		-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雷処理	札幌軟石を使用し、地域避難施設を設置	4.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源緑化	-	2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40		-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.72 品確法= -	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用	省エネ	-	3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.73 -	4.4	0.50		-	4.4
4	効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-	-		-	
4.1	モニタリング	省エネ		-	-		-	
4.2	運用管理体制	省エネ		-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.0
1	水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1	材料使用量の削減	省資源		3.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.22		-	

3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
	1 消火剤	省資源	-	-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	省資源	-	3.0	0.50		-	
	3 冷媒	省資源	-	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					0.30		-	3.3
1	地球温暖化への配慮	省資源	-	3.9	0.33		-	3.9
2	地域環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
	2.1 大気汚染防止	省資源	-	3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理	-	3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減	省資源	雨水流出抑制対策などを実施	4.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		駐輪場を整備隣地(同施主)を含め駐車場を整備	4.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	ごみ庫を2ヶ所美設置又、堆雪スペースを設けた。	5.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1 騒音		-	3.0	1.00		-	
	2 振動		-	-	-		-	
	3 悪臭		-	-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		-	3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		-	1.0	-		-	
	3 日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70		-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要			BEE	1.5	BEEランク	A
建物名称	特別養護老人ホーム ラスール苗穂ウエストサイド					
建物用途	病院					
延床面積	5,864.5	m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア						
A 省エネルギー		(最高点 24.4 最低点 6.5)			合計	19.1点 /24.4点
Q1 温熱環境	スコア	1.1 /1.8	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0 /4.0	
Q1 光・視環境	スコア	1.6 /2.6	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 /2.0	
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	8.8 /10.0	
			LR1 効率的運用	スコア	2.4 /4.0	
B 省資源等		(最高点 23.7 最低点 7.7)			合計	14.9点 /23.7点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.4 /9.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 /1.9	
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.9 /5.0	
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.8 /4.4	
C 緑化		(最高点 15.3 最低点 3.1)			合計	9.9点 /15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.7 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5 /2.5	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.8 /6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3				
D 雪処理		(最高点 3.0 最低点 0)			合計	2.0点 /3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0 /2.0	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数